市報にいがた
創刊500号特集

市民のかけ橋として20年

親しみある市報へさらに改善

いくたの変遷を経て五〇〇号を迎えた市報にいがた

〝市報にいがた〟が昭和三十年四月五日に創刊されて以来二十余年、いくたの変遷を経ながら、本号をもって五百号を迎えました。

市は、これからもより一層みなさんから親しまれる市報づくりを、と、先に「市報への提言」を募集いたしましたところ、早速多数の方々からご意見をいただきました。そこで、本欄では、それらの意見を紹介しながら、市報を見なおしてみよう―と「創刊五百号特集」を組みました。

投稿者のうち、紙面の都合で掲載できなかったものについては、この紙上で心からお礼申し上げます。今後ともご理解をお願いします。

ユニークな提言 今後の参考に

市報が五百号になりました。昭和三十年四月に創刊されて以来、市民と市政のかけ橋として大きな役目を果してきたわけで、みなさんと共に喜びたいと思います。この二十年余の期間はみなさんにとって、いろいろなことがあったと思います。

それは苦しいことであり、またたのしいことであったと思うのですが、市政にとっても大地震をはじめとして多くの出来事があり、その都度この市報が大きな役割を荷ってきたわけです。

いま五百号をお届けするにあたって、私たちはいままでの反省の上にたって、さらに改善していきたいと思います。先日募集の「市民の市報への提言」を拝見しましたが、非常に貴重な、またユニークな提言が多く、大いに参考にしたいと思います。

提言を寄せられた方々にお礼を申上げます。

私はこの市報が「かけ橋」と申上げましたが、もっと申し上げれば、市政に関する情報――予算の内容、どんな仕事がどのように行われているか、あるいは〝地方自治〟の実態など、できるだけ多くの情報を市民に提供することによって、みなさんから市政につき理解してもらい、さらに卒直な意見を、あらゆる機会に寄せてもらいたい、そんな願いをこめて申上げたわけです。同時に提言の中にあったことも、今後できるだけ生かしていきたいと思います。どうかこれからも折にふれご意見を寄せてください。市民みなさんの市報を、力を合わせて育て、いきたいと思います。

新潟市長　川上喜八郎

三十九年六月十六日突じょ襲った新潟地震

自動的に各所の公害状況がは握できるテレメーターシステムの中央監視センター―三か年計画を一か年にくり上げて今年三月に完成しました。

おもなできごと

市報の歩み 市政の歩み 20年

昭和30年 市報「にいがた」創刊 タブロイド版二頁 毎月一回 **新潟大火** 羅災千二百世帯 損害約七十億円 **海岸欠壊進む**

31年 **鳥屋野浄水場着工** 総工費二億円 **白新線開通** 四月十五日

32年 嘱託員制度を廃止し、新しく**自治会発足** **地盤沈下調査委員会発足**

33年 **新庁舎完成** 地下一階、地上八階の鉄筋コンクリート造り **新潟駅完成**

34年 **北朝鮮帰還第一船新潟港出港**

35年 スポーツの殿堂 **市体育館完成**

36年 **豪雪** 一月十八日積雪一一六㌢ 下木戸にし尿処理場完成 赤塚、中野小屋の両村を合併して**現在の市域に**（人口三三六、六三二人 面積二〇八・三四平方㌔）32年の大江山、曽野木、両川の三村合併（人口二九五、二二五 面積一六一・四七）35年の内野町、豊栄市の一部合併（人口三一四、五二八、面積一八〇・二五）に次ぐもの

37年 **新潟空港ターミナル完成** **八千代橋完成**

38年 **東港着工** 第一期計画 45年度まで

39年 一月五日号から市報の**題字変更** **新産業都市に指定** **昭和大橋完成** **新潟国体** **新潟地震** 死者十一人 重軽傷者一二〇人 家屋破損 一八、五七二件 浸水世帯一一、〇五被災世帯三一、九七〇 被災者一四四、〇九七人の大被害 被害額約千五十億円

40年 ガルベストン、ハバロフスク市と**姉妹都市** **東総合庁舎完成** **市報月二回に**

41年 新潟ナホトカ間**ソ連客船就航** **西船見汚水処理場完成** **西清掃センター完成** **加治川欠壊**

42年 **特定重要港湾に**、開港百年、震災復興記念**新潟大博覧会** 県民会館

43年 **関屋分水路着工** 九十五億円を投入 **スポーツと音楽都市宣言** 市報月三回に

44年 **信濃川取水場完成** **東港開港** 十一月十九日 38年に着工以来足かけ七年百五十億の巨費投ずる **市歌市民歌制定**

45年 **日本海タワー完成** **公害防止施設資金融資制度スタート**

46年 **浜浦大橋** **関屋大橋** **堀割橋完成**

47年 **関分開通** **山の家** **交通公園** **温水プールオープン**

48年 **40万都市達成** **舞平処理場完成** **局地間空路開設** **市民病院開院**

49年 **身体障害者福祉モデル都市に** **市指定文化財**

50年 **有明ハイツ完成** **ごみの分別収集開始**

51年 **総合保健センター完成** **環境汚染監視テレメーター完成** **市報週刊に**

今後 福祉、健康、教育生活環境整備―などを重点とした「人間都市にいがた」の建設を市民とともに進めていきます。

……市報への提言……

賛否両論を掲載して…

渡辺晴彦（鳥屋野中2年）

「市報にいがた」は、新潟市のほとんどの家庭が市政を知る唯一の情報源だと思います。特にこのあいだ載った第三次都市総合交通規制など、ドライバーの方には、欠くことのできないものだと思います。が、ただ交通規制を次のようにしますと図をかくだけでなく、そこにその交通規制に対する〝賛成〟やら〝ここもやってほしい〟などの意見を載せれば意見の交換の場にもなると思います。

そういう点で、このあいだの駅南口問題に対する賛否両論は非常にぼく自身、南口問題に対して考えを深めることができました。

ですから、駅南口問題に限らず、〝ゴミ問題〟やら〝道路問題〟など地区の問題は地域別市政懇談会で市長と話し合うだけでなく、市民全員に知らせ、みんなが問題に深い感心と自分の考えを持つべきだと思います。

親切な報道を願う

中川滝雄（水道町・団体役員）

盆、暮れには、東京で勤め千葉県習志野市に住んでいる私の末っ子夫婦がやってくる茶の間にあがるや否や『お父さん、市報にいがたを出して…』という。いつものことで、私が過去半年の市報をまとめて渡す。

彼はそれを、滞在中ひまをみてはむさぼるように目を通して悦に入っている感じ！

彼が東京に進学し、就職、結婚して今日にいたるまで、一度だって欠かしたことのない年中行事です。

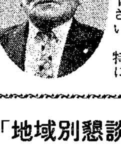
だから私には、彼のために市報にいがたは、読後必らず整とんしておく習慣がついている。

彼は、盆暮れに生家にきて父母兄弟と交歓するだけでなく、市報にいがたをみることによって、ふるさとのうつりかわりを肌に感じ取ろうとしているかのようである。

『市報にいがたはよくできていますよ。市民のものという感じですよ』と彼が評価してくれて、私も気をよくしています。

私の提言ですが、報道は親切にねがいたい点で次のことをお願いします。

一、市の施設の紹介記事には、その所在地、交通、電話等を併記して下さい。



二、諸手続の案内で、必ず持参すべきもの（例、印かん・保険証等）を明記して下さい。特に、老人・身障者等を二度三度役所通いをさせないで下さい。

三、法令で期限のあることは、何回も報道して注意を喚起して下さい。

教養を培う記事も

高橋浜門（忠蔵町・クリーニング）

市報にいがた編集スタッフは、市民のために、より充実した紙面の作成に取り組み、その成果は沿革が物語っている。

今日まで、期待された市報の役目は、生活を潤おす大きな助けとなって、市民の心に誇りと満足を与えてきた。

このたび、さらに一層の親近と必要性を高めるために私は、次の諸点について感想を提言する。

紙面にコラムを設けて「文学、歴史、科学、経済、医学」と云った記事を、読物風に載せる。執筆はその方面の先生方に依頼する。

これは教養を培う一助にもなり、市民講座に参加できない人のためにも役に立つ。

「市議会、市の各課、外郭機関、関係機関」を訪問し記事にする。訪問記風に。そして業務の解説をさしつかえない範囲で行い、これによって知られていない面を市民の生活に役立てる。

「市の各課の課長は、役所の殻を脱いで、エッセイ風なものを、順番に、市報に書いて載せる」これで市民との対話、親近感といったものを植えつける。

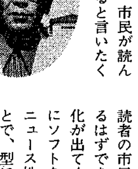
これらによって、愛着のもてる市報、読み捨てにできない市報、読んだら保存しておきたい市報へと伸びてゆきたい。

わかりやすい解説を

樋口隆太郎（関屋田町・教員）

広報紙とは、いかに、長く、確実に伝えられるかということが、その最も大きな使命であろう。その意味でも発刊五百号は意義深い。「市報にいがた」も近年ますますその内容は充実してきたと思う。さらに今後の市報への提言をあげてみるなら以下二つの点を強調したい。

一、現状では、「市政」の通報といった取り上げ方が、紙面では強いようである。それだけでは、余りにもお役所仕事の一方通行にかたよりはしないだろうか。単なる通報の記事だけに終わることなく、そこにわかり易い「解説」を加味すると共に、市民に対する「ガイダンス」のあり方をもってほしいと思う。市民が読んでためになると言いたくなる記事のあることである。



二、週一回の発行というものであれば、さらに「ニュース」性がほしい。一週間という時間の中にある市政のいろいろな出来事を、紙面に取り入れていくことは大切である。ニュース性が強まれば、読者の市民に関心は高まるはずであり、紙面に変化が出てくる。多少文章にソフトな味のある事も、ニュース性を強調することで、型にはまった「市報」から脱け出せるのではないかと思う。

「地域別懇談会」「市報にいがた」に関する 1万人アンケートを実施

市は、六月から七月にかけて実施した地域別市政懇談会と市報にいがたに関する一万人アンケートを実施します。

地域別市政懇談会は、川上市政になってから新たに行われたもので、各地域で大きな反響を呼びましたが、来年度以降、さらに充実したものにするために調査するもの。

一方、市報にいがたはより親しみある市報づくりを進めるために多くの市民からご意見をきこうというものです。

来月初旬にはがきをお届けしますので、該当された方は、折り返しご意見を記入の上、ご返信くださるようご協力をお願いします。

……市報への提言……

欲しい歴史・文化欄

本間文子（幸西一・主婦）

私はこの春、新潟市へ転入して来ました「市報にいがた」新潟市を知る上で、また新潟市をより一層深い親しみをもつ上で、欠かせないパイプであることは、本当にありがたく思います。

しかし私はもっと市の歴史や文化を知れたら私自身意義あるものと思うし、また多くの市民の文化的教養の育成の上でも必要ではないかと思います。

市報は、市の行政や行事を連絡するのに、欠かせない使命を持っておりますが、その紙面の片隅を利用して、市の文化的遺産の紹介や、有名人の紹介または民話あるいは県・市の有名な伝説など掲載されたならさらに良い市報になることと信じます。

いたずらに枚数をふやすのもどうかとは思いますが、これらは「歴史文化」欄として片隅におき、息長く連載されることを希望致します。

また市政モニター制度もあるようですが、それはそれとして、市報を通じて「市民のひろば」欄を設け、市民の有意義な提言などを募集し、市政に反映されることを期待致します。

親しみある〝市民登場〟

須貝のぶ（川岸町二・主婦）

毎週日曜に市報が届くようになる前は、五の日毎であったが、やはり同じ曜日に届くという方が普通の家庭にはありがたいように私は思う。特に日曜日はゆっくりとした気持で手にすることができるので、以前五の日の時よりは、我が家では、何かと市報の事が話題になる。大変良かったと思う。

また今までは市からの一方交通の事が多かったように思う。しかしこの頃は市民の言葉もいろいろな面で採用し、発表されているので、より身近に感じられるようになった。

また私たちの団体で催す講習会のお知らせなども掲載してもらえるので嬉しい。

九月五日の四九七号には新潟まつりのあとのゴミの事が掲載されていたがもっと早く出せないのであろうか、せめて八月二十九日の四九六号に出ていればより新鮮な気持で読むことができたと思う。

家庭園芸の欄がとても私の好きな欄である。時季時季のものを永く掲載してもらいたいと思う。

多角的な解説記事を…

朝妻勝子（竹尾・主婦）

週刊になった市報にいがた、今までのように間があると前の号と、次の号とのつながりがない感じだったのですが、興味の持ち方がちがってきたみたいです。

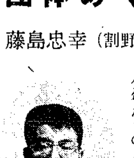
〝市政の現状と課題〟と称しシリーズがありましたが、この様なシリーズにして、ただ市の課題を提示するのみでなく、例えば老人福祉を取りあげたなら、恩恵を受けている老人側からみた話し、老人を世話、養っている人の話し、若い人からみた意見なども、同時にのせて、市側の考えと一般の人の意見を照らし合せられたら、と思うのです。それに毎週とりあげる問題がちがうのでなく、今月老人問題をとりあげたなら、来月は社会、身障者福祉をと、テーマを月々かえて広く深く、一つの課題を取りあげていったらどうなのでしょう。

青少年補導センター日誌からの文が載っていますが、見えない所の子供達の行動、町の子供に与える影響などが良くわかり、ていねいに読んでいます。また別の話ですが、「市報にいがた読んだって右から左へツーだし。とりたてて生活の為にも。」という人たちのために、くらしの豆知識の中から毎号少しずつでも連載したらと思いました。

毎日曜楽しみにしております。企画編集の皆さんがんばって下さい。

子供のスポーツ団体めぐりを

藤島忠幸（割野・建築業）



次の点をお願いしたい。

市内にある史跡、文化財、民俗資料等、幾星霜の年月に耐えてきた。事物の紹介、また、一つの仕事に一生を捧げ、名人の域に達した人の紹介を通して故郷新潟を認識して発展的意味で、伝統を受けつぎ、守り、次代へ正しく継承する気風を啓もうして欲しい。

子供のスポーツ団体めぐりを―元気な少年たちの人生観？等をおりまぜて、人間形成の三要素と言われる知育徳育体育の一つ、スポーツに励む少年たちの純粋な心意気にふれてみたい。

市民相談室の市報版を―他人事でないことがらも多くあり、生活上大いに役立つと思う。

市の講座のOBたちが自主サークルとして活動していると聞く。それらの紹介で、志を同じくする人たちの集団活動の楽しさ、難しさ、生きがいなど聞いてみたい。市報の使命として、報道、各種行事の案内、と同時に前記のことがらもぜひ、順次とり入れて欲しい。

最後に「私もひとこと欄」は、永久に続けて欲しい。市報が市政参加への通用口の一つとしての役割を持っていると思う。私たちも大いに考え発言すべきと思う。週刊になったことは、市民との距離がいっそう近くなったことで、喜ばしいことと思う。

三歳児検診

対象　昭和48年4月生まれ
時間　午後1時～2時半
持参品　母子手帳
会場　各所管の保健所

〈東新潟〉

月・日	対象校区
10・6	長嶺、沼垂、万代、南万代、女池、鳥屋野、松浜
10・7	大形、山ノ下、桃山、東山ノ下、下山
10・14	南浜、太夫浜、太郎代、濁川、木戸、牡丹山、割野、酒屋
10・21	山潟、東中野山、中野山、曽野木、丸潟、大渕、丸山
10・28	笹口、上所

〈西新潟〉

月・日	対象校区
10・1	浜浦、関屋、有明台、鏡渕、白山、新潟、礎、大畑、湊
10・15	豊照、栄、入舟、新通、真砂、五十嵐、笠木、小瀬
10・22	内野、赤塚、坂井輪、小針、青山、木山

股関節検診

対象　昭和51年6月生まれの赤ちゃん
時間　午後1時～2時
持参品　料金680円と母子手帳
会場　各所管の保健所

〈東新潟〉

月・日	対象校区
10・1	山ノ下、桃山、東山ノ下、長嶺、沼垂、南万代、万代
10・8	中野山、東中野山、木戸、牡丹山、山潟、酒屋、割野
10・15	大形、松浜、下山、濁川、曽野木、丸潟、大渕、丸山、南浜、太夫浜、太郎代
10・22	鳥屋野、女池・笹口、上所

〈西新潟〉

月・日	対象校区
10・5	有明台、浜浦、関屋、内野、木山、赤塚、小瀬、笠木
10・12	新潟、礎、大畑、豊照、湊、栄、入舟、鏡渕、白山
10・19	青山、小針、坂井輪
10・21	新通、真砂、五十嵐

健康相談

時間　午前10時～正午・午後1時～同3時
〈石山地区〉
期日　9月28日
会場　石山第一団地中央自治会集会室
〈坂井輪地区〉
期日　9月30日
会場　真砂町会館

離乳食講習会

期日　9月29日・10月6日
時間　午後1時～同3時半
会場　東保健所栄養指導室
母子手帳をもっておでかけください。

優生保護相談

月・日	時間	内容	担当者	申込
10・14 28	午後 1：00～3：00	①先天異常児の発生防止（主として遺伝）関係の相談 ②結婚・妊娠に関する医学的・心理的問題についての相談 ③家族計画指導	医師 保健所職員	電話で予約
10・5 12 19 21	午後 1：00～3：00	①家族計画指導 ②受胎調節個人指導	受胎調節実施指導員	当日受付

会場　西保健所第2健康相談室
申し込み　西保健所保健予防課母子保健係

安産教室

日時　10月1日　午前9時半～正午
会場　西保健所
対象　妊娠6～7か月の妊婦
持参品　母子手帳、筆記用具、体操できる服装
内容　安産体操の知識と実習　出産に関する質疑応答
申し込み　9月30日までに西保健所母子保健係へ電話で予約を、20人で締め切ります。

「薬害パネル展」

～目でみる薬害の恐ろしさ～

◇期間　9月28日～30日
◇時間　午前8時半～午後5時半
◇会場　市役所前

狂犬病予防注射と犬の登録（東保健所管内）

時間　午前＝午前9時半～同11時半　午後＝午後1時半～同3時半
料金　1,090円｛登録手数料 300円　注射料金 790円｝

日	時	会場
10月2日（土）	午前	出来島公民館、天神町遊園地
10月2日（土）	午後	女池小学校、鳥屋野小学校
3日（日）	午前	東山の下小学校、桃山小学校
3日（日）	午後	上所小学校、沼垂小学校
4日（月）	午後	大江山連絡所、濁川連絡所
5日（火）	午後	曽野木連絡所、両川連絡所
6日（水）	午後	石山連絡所、長潟自治会館
7日（木）	午後	北地区事務所、南浜連絡所
8日（金）	午後	牡丹山諏訪神社、大形連絡所
9日（土）	午前	河渡病院グランド、太平公園
9日（土）	午後	山の下小学校、物見山公園
10日（日）	午前	山木戸保育園、中野山小学校
10日（日）	午後	東地区事務所、南万代小学校

夜間の結核健康診断

仕事の都合などで昼間レントゲン検査を受けられなかった人、長期未受診（3年以上）の方は必ず受けてください。
受診票は会場に用意してあります。

月・日	時間	会場
10・1	午後6時～8時	大畑小学校
10・4	午後6時～8時	白山小学校
10・6	午後6時～8時	西保健所
10・13	午後6時～8時	西地区事務所

血圧の高い人の生活と食事の指導講習会

月・日	時間	会場
9・28	午後1時～同3時半	東保健所
9・28	午後1時半～同4時	赤塚連絡所
9・29	〃	新潟小学校
10・1	〃	有明台小学校

内容　高血圧症について／食生活の注意と調理実演／生活指導など